

平成21年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算 - 予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,925	5,046	121	(注1)
施設整備費補助金	130	375	245	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	38	1,331	1,293	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	27	0	
自己収入	2,386	2,688	302	
授業料、入学金及び検定料収入	2,330	2,610	280	(注4)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	56	78	22	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	953	825	128	(注6)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
承継剰余金	-	-	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	405	900	495	(注7)
計	8,864	11,192	2,328	
支出				
業務費	5,933	6,323	390	
教育研究経費	5,933	6,323	390	(注8)
診療経費	-	-	-	
一般管理費	1,783	1,787	4	(注9)
施設整備費	157	402	245	(注10)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	38	1,331	1,293	(注11)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	953	768	185	(注12)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	8,864	10,611	1,747	
収入 - 支出	0	581	581	

予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度から繰り越した額のうち使用額(350百万円)が当初の予定より多かったことに伴い、予算額に比して決算額が121百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、平成21年度補正予算により最先端設備の整備に係る経費が交付されたこと等に伴い、予算額に比して決算額が245百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、平成21年度補正予算により設備整備費補助金が交付されたことや補助金獲得に取り組んだ結果、予算段階では予定していなかった研究拠点形成費補助金や大学改革推進等補助金が交付されたこと等に伴い、予算額に比して決算額が1,293百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、今年度より翌年度入学者に係る授業料前納を実施したこと等に伴い、予算額に比して決算額が280百万円多額となっています。

- (注5) 雑収入については、資金運用による利息収入や(独)科学技術振興機構による特許出願支援等が当初の予定より多かったことや予算段階では予定していなかった火災保険金を受け取ったこと等に伴い、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等収入が当初の予定より97百万円減少、寄附金収入等が当初の予定より31百万円減少したことに伴い、予算額に比して決算額が128百万円少額となっています。
- (注7) 目的積立金取崩については、当初予定していた教育研究環境整備事業の計画変更等により、目的積立金の取崩が必要となったため、予算額に比して決算額が495百万円多額となっています。
- (注8) 業務費については、(注7)に示した理由により増加しましたが、教員の退職者が当初の予定より少なかったこと及び業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が390百万円多額となっています。
- (注9) 一般管理費については、(注7)に示した理由により増加しましたが、職員の退職者が当初の予定より少なかったこと及び業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が4百万円多額となっています。
- (注10) (注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が245百万円多額となっています。
- (注11) (注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,293百万円多額となっています。
- (注12) (注6)に示した理由等により、予算額に比して決算額が185百万円少額となっています。